

2026 年度 ANA グループ航空輸送事業計画を策定（改訂版）



ANA グループは、旅客事業において、ANA と Peach による「デュアルブランド戦略」を軸にネットワークを構築し、貨物事業においては、新たに加わった NCA（日本貨物航空）とのシナジーを着実に推進し、2026 年度も引き続きお客様の利便性向上とグループ全体の収益性向上に取り組んでまいります。

1. 国際線事業

- ANA は、旺盛な需要に対応し国際線運航便数を前年比 105% に拡大いたします。上期に成田＝バンクーバー線の期間運航など、需給に合わせた柔軟な路線設定を推進するとともに、下期より羽田＝ミラノ線^{※1}を増便し毎日運航いたします。2026 年 8 月からは最新のシートを全クラスに導入したボーイング 787-9 型機を受領し、さらなるサービスと利便性の向上に努めてまいります。
- Peach は、関西＝仁川線・台北線、成田＝台北線など、需要動向に応じて期間増減便いたします。

2. 国内線事業

- 全路線、旺盛な需要が見込める路線は増便する一方、需要動向や競争環境を総合的に判断し、一部路線において減便・運休いたします。
- 2026 年 6 月には新機種ボーイング 737-8 型機を受領いたします。

3. 貨物事業

- NCA がグループに加わり初となる事業計画です。本邦最大のコンビネーションキャリアとして、ANA の旅客便貨物に加え、ANA 貨物便ではアジアを、NCA 貨物便^{※2}では欧米ネットワークを強化し、アジア＝欧米間の貨物流動を確実に取り込んでまいります。
- 3 月 29 日より ANA 貨物便の成田＝バンコク線を増便、また、NCA 貨物便^{※2}の成田＝シカゴ・ダラス・ロサンゼルス線については計週 5 往復を増便いたします。

※1 増便開始日は別途ご案内。

※2 提携社運航便を含む。

2026 年度の航空輸送事業計画の概要は以下の通りです。

1. 国際線事業

<ANA>

- 運航便数を前年比 105%に拡大いたします。
- 季節ごとの需要変動に対応し、上期に成田＝バンクーバー線を期間運航し、柔軟な需給適合を推進してまいります。また、下期には羽田＝ミラノ線を増便し毎日運航いたします。
- 2026 年 8 月より、新型のビジネスクラスシート「THE Room FX」、プレミアムエコノミーおよびエコノミークラスシートを装着したボーイング 787-9 型機を受領いたします。なお、具体的な投入路線と時期については決定次第あらためて公表いたします。

【ANA 国際線 航空輸送事業計画】

【対象期間】2026 年 3 月 29 日～

エリア	都市	路線	便名 (日本発 /海外発)	運航便数 (現行)	運航便数 (変更後)	備考
アジア・オセアニア	北京	羽田=北京	NH961/962	7 往復/週	7 往復/週	
			NH963/964	7 往復/週	7 往復/週	※1
		関西=北京	NH979/980	3 往復/週 (水・木・日)	3 往復/週 (水・木・日)	
	大連	成田=大連	NH903/904	7 往復/週	7 往復/週	
	青島	羽田=青島	NH949/950	7 往復/週	7 往復/週	
	上海(虹橋)	羽田=上海(虹橋)	NH969/970	7 往復/週	7 往復/週	
	上海(浦東)	羽田=上海(浦東)	NH967/968	7 往復/週	7 往復/週	※1
			NH971/972	7 往復/週	7 往復/週	※1
		成田=上海(浦東)	NH919/920	7 往復/週	7 往復/週	
		関西=上海(浦東)	NH973/974	4 往復/週 (月・火・金・土)	4 往復/週 (月・火・金・土)	
			NH975/976	4 往復/週 (月・火・金・土)	4 往復/週 (月・火・金・土)	
	杭州	成田=杭州	NH929/930	3 往復/週 (月・火・金)	3 往復/週 (月・火・金)	
	広州	羽田=広州	NH923/924	7 往復/週	7 往復/週	
	深圳	羽田=深圳	NH965/966	7 往復/週	7 往復/週	
	香港	成田=香港	NH811/812	7 往復/週	7 往復/週	※1
			NH859/860	7 往復/週	7 往復/週	
		羽田=香港	NH813/814	7 往復/週	7 往復/週	※2
	台北	羽田=台北(松山)	NH851/852	7 往復/週	7 往復/週	
			NH853/854	7 往復/週	7 往復/週	
	ソウル	羽田=ソウル(金浦)	NH861/864	7 往復/週	7 往復/週	
NH865/868			7 往復/週	7 往復/週		
NH867/862			7 往復/週	7 往復/週	※1	

シドニー	羽田=シドニー	NH879/880	7 往復/週	7 往復/週	
		NH889/890	7 往復/週	7 往復/週	※1
パース	成田=パース	NH881/882	7 往復/週	3 往復/週 (月・木・土)	4 月 19 日 までは 毎 日運航
デリー	羽田=デリー	NH837/838	7 往復/週	7 往復/週	
ムンバイ	成田=ムンバイ	NH829/830	5 往復/週 (火・木・金・土・ 日)	7 往復/週	7 月 18 日 から 8 月 31 日まで は 3 往復/ 週 (火・ 金・日) 運 航
バンコク	成田=バンコク	NH805/806	7 往復/週	7 往復/週	※1
		NH807/808	-	4 往復/週 (火・水・金・ 日)	※2 4 月 21 日 から運航 開始、7 月 18 日から 8 月 31 日 までは運 休
	羽田=バンコク	NH849/848	7 往復/週	7 往復/週	
		NH847/850	7 往復/週	7 往復/週	
		NH877/878	7 往復/週	7 往復/週	
ハノイ	成田=ハノイ	NH897/898	7 往復/週	7 往復/週	
ホーチミン シティ	成田= ホーチミンシティ	NH833/834	7 往復/週	7 往復/週	※1
	羽田= ホーチミンシティ	NH891/892	7 往復/週	7 往復/週	
クアラルン プール	成田= クアラルンプール	NH815/816	7 往復/週	7 往復/週	※1
	羽田= クアラルンプール	NH885/886	7 往復/週	7 往復/週	※1
シンガポール	成田= シンガポール	NH801/802	7 往復/週	7 往復/週	※1
		NH803/804	-	7 往復/週	※1 ※2 4 月 20 日 から 5 月 8 日まで、9 月 1 日から 10 月 24 日まで運 航
	羽田= シンガポール	NH843/842	7 往復/週	7 往復/週	
		NH841/844	7 往復/週	7 往復/週	
ジャカルタ	成田=ジャカルタ	NH835/836	7 往復/週	7 往復/週	※1

		羽田=ジャカルタ	NH855/856	7 往復/週	7 往復/週	
			NH871/872	7 往復/週	7 往復/週	※1
	マニラ	成田=マニラ	NH819/820	7 往復/週	7 往復/週	※1
		羽田=マニラ	NH869/870	7 往復/週	7 往復/週	
北米・太平洋	ロサンゼルス	成田=ロサンゼルス	NH6/5	7 往復/週	7 往復/週	
		羽田=ロサンゼルス	NH126/125	7 往復/週	7 往復/週	
			NH106/105	7 往復/週	7 往復/週	
	サンフランシスコ	成田=サンフランシスコ	NH8/7	7 往復/週	7 往復/週	
		羽田=サンフランシスコ	NH108/107	7 往復/週	7 往復/週	※1
	シアトル	羽田=シアトル	NH118/117	7 往復/週	7 往復/週	
	ワシントン D.C.	羽田=ワシントン D.C.	NH102/101	7 往復/週	7 往復/週	
	ニューヨーク	羽田=ニューヨーク	NH110/109	7 往復/週	7 往復/週	
			NH160/159	7 往復/週	7 往復/週	※1
	ヒューストン	羽田=ヒューストン	NH114/113	7 往復/週	7 往復/週	
	シカゴ	成田=シカゴ	NH12/11	7 往復/週	7 往復/週	
		羽田=シカゴ	NH112/111	7 往復/週	7 往復/週	
	バンクーバー	成田=バンクーバー	NH136/135	-	7 往復/週	※2 6月5日から8月31日まで運航
		羽田=バンクーバー	NH116/115	7 往復/週	7 往復/週	
	メキシコシティ	成田=メキシコシティ	NH180/179	7 往復/週	7 往復/週	※1
	ホノルル	成田=ホノルル	NH182/181	7 往復/週	3~7 往復/週	※4
成田=ホノルル		NH184/183	7 往復/週	7 往復/週		
羽田=ホノルル		NH186/185	7 往復/週	7 往復/週		
欧州	ロンドン	羽田=ロンドン	NH211/212	7 往復/週	7 往復/週	
	パリ	羽田=パリ	NH215/216	7 往復/週	7 往復/週	
	フランクフルト	羽田=フランクフルト	NH203/204	7 往復/週	7 往復/週	※1
			NH223/224	7 往復/週	7 往復/週	
	ミュンヘン	羽田=ミュンヘン	NH217/218	7 往復/週	7 往復/週	※1

	ウィーン	羽田=ウィーン	NH205/206	3往復/週 (月・木・土)	3往復/週 (月・木・土)	※1
	ミラノ	羽田=ミラノ	NH207/208	3往復/週 (火・木・日)	3往復/週 (火・木・日) ※3	2026年度 下期中に 7往復/週 (別途ご 案内予 定)
	ストックホルム	羽田= ストックホルム	NH221/222	3往復/週 (火・木・日)	3往復/週 (火・木・日)	
	イスタンブール	羽田= イスタンブール	NH219/220	3往復/週 (月・水・土)	3往復/週 (月・水・土)	
	ブリュッセル	成田=ブリュッセル	NH231/232	2~3往復/週	3往復/週 (月・水・土)	

※1 海外発便は実施期間の開始日と終了日が翌日となります。

※2 準備が整い次第、販売を開始いたします。

※3 羽田=ミラノ線の運航曜日は、5月9日から月・水・土に変更となります(海外発は翌日運航)

※4 成田=ホノルル線(NH182/181)の減便期間は、2026年5月11日~7月16日、9月2日~11月5日、11月21日~12月16日、2027年1月11日~3月18日となります。

減便となる曜日は月・水・木・土です。ただし、5月と9月は一部変則となり、5月15日(金)、17日(日)、19日(火)、9月18日(金)、20日(日)、25日(金)、27日(日)、29日(火)は運休、5月14日(木)、18日(月)、20日(水)、9月19日(土)、24日(木)、26日(土)、28日(月)、30日(水)は運航いたします。

※関係当局への申請・届出・認可を前提としております。

※上表に記載のない路線・便名については現時点で運航計画はありません。運航を開始・再開する場合には、別途ご案内いたします。

※羽田路線の出発、到着ターミナル(ターミナル2または3)についてはご利用の際にANAアプリ、ウェブサイトなどでご確認ください。

<Peach>

- 運航便数を全路線で前年比 112%に拡大いたします。
- 関西=仁川線・台北線、成田=台北線など、需要動向に応じて期間増減便いたします。

【Peach 国際線 航空輸送事業計画】

■国際線

エリア	都市	路線	便名 (日本発 /海外発)	運航便数 (現行)	運航便数 (変更後)	備考
アジア・オセアニア	上海(浦東)	羽田=上海	MM877/876	5~7 往復/週	7 往復/週	
		関西=上海	MM079/080	5~7 往復/週	7 往復/週	
	香港	関西=香港	MM063/064	0~7 往復/週	0~7 往復/週	
			MM067/068	7 往復/週	7 往復/週	
			MM069/060	0~7 往復/週	0~6 往復/週	
	台北(桃園)	羽田=台北	MM859/860	7 往復/週	7 往復/週	
		成田=台北	MM631/624	0~3 往復/週	0~6 往復/週	
			MM623/628	0~7 往復/週	0~7 往復/週	
			MM625/626	7 往復/週	7 往復/週	
			MM627/620	7 往復/週	7 往復/週	
		中部=台北	MM723/722	7 往復/週	7 往復/週	
		関西=台北	MM023/024	7 往復/週	7 往復/週	
			MM025/026	7 往復/週	0~7 往復/週	
			MM027/028	7 往復/週	7 往復/週	
			MM029/030	0~7 往復/週	0~7 往復/週	
		沖縄=台北	MM921/922	7 往復/週	7 往復/週	
	MM927/924 ※1		7 往復/週	7 往復/週		
	MM929/930		7 往復/週	7 往復/週		
	高雄	関西=高雄	MM031/032	7 往復/週	7 往復/週	
	ソウル(仁川)	羽田=仁川	MM809/808	7 往復/週	7 往復/週	

		関西=仁川	MM701/714	7 往復/週	7 往復/週	
			MM705/706 ※1	7 往復/週	0~7 往復/週	
			MM709/710	7 往復/週	7 往復/週	
			MM711/712	7 往復/週	7 往復/週	
			MM713/716	0~7 往復/週	0~7 往復/週	
	ソウル(金浦)	関西=金浦	MM735/736 ※1	0~7 往復/週	7 往復/週	
			MM737/738	7 往復/週	7 往復/週	
			MM739/740	0~7 往復/週	7 往復/週	
			MM733/744 ※1	7 往復/週	7 往復/週	
		中部=金浦	MM763/764	7 往復/週	7 往復/週	
	MM767/768		7 往復/週	7 往復/週		
	バンコク	関西=バンコク	MM091/092	7 往復/週	7 往復/週	
	シンガポール	関西=シンガポール	MM773/774	7 往復/週	7 往復/週	

※1 一部の便は、2025 年度修正事業計画から便名を変更いたします。

※関係当局への申請・届出・認可を前提としております。

2. 国内線事業

<ANA>

- ANA では、運航便数を前年比 98%に設定いたします。
- 旺盛な需要が見込める路線は増便する一方、需要動向や競争環境を総合的に判断し、一部路線では減便・運休いたします。
- 2025 年度より実施している施策に加え、運航機材の増強により、定時性の向上、イレギュラー時の対応力を強化してまいります。
- コロナ禍を経て、需要構造が変化していることに加え、費用も増加しており、利益を創出することが厳しい状況にあります。国土交通省の「国内航空のあり方に関する有識者会議」における議論の進展を注視し、業界全体の課題解決に向けて官民一体で取り組んでまいります。

【ANA 国内線 航空輸送事業計画】

(1) 増便

路線	実施時期	運航便数 (現行)	運航便数 (変更後)	備考
羽田=札幌	夏の多客期を 中心に 120 日程度	18 往復/日	18~19 往復/日	期間増便
羽田=庄内	3 月 29 日~5 月 31 日、 10 月 1 日~24 日	5 往復/日	5 往復/日	期間増便継続
羽田=米子	6 月 1 日~9 月 30 日	6 往復/日	6 往復/日	期間増便継続
羽田=長崎	3 月 29 日~10 月 24 日	5 往復/日	5 往復/日	期間増便継続
羽田=沖縄	週末・夏休み・多客期を 中心に 150 日程度	13~14 往復/日	13~14 往復/日	期間増便継続
伊丹=沖縄	3 月 29 日~	3 往復/日	4 往復/日	
中部=札幌	4 月 29 日~	4 往復/日	6~7 往復/日	期間増便
小松=札幌	4 月 29 日~	1 往復/日	2 往復/日	期間増便
福岡=札幌	7 月 1 日~8 月 31 日	2 往復/日	3 往復/日	期間増便

(2) 期間運航

路線	実施時期	運航便数 (現行)	運航便数 (変更後)	備考
中部=旭川	7 月 17 日~10 月 12 日	-	1 往復/日	期間運航
中部=女満別	7 月 17 日~10 月 12 日	-	1 往復/日	期間運航
中部=函館	3 月 29 日~4 月 6 日、 4 月 29 日~5 月 6 日、 7 月 17 日~9 月 30 日	-	1 往復/日	期間運航

(3) 減便・運休

路線	実施時期	運航便数 (現行)	運航便数 (変更後)	備考
羽田=福岡	3 月 29 日~	20 往復/日	19 往復/日	
伊丹=札幌	3 月 29 日~	6 往復/日	5 往復/日	
関西=札幌	3 月 29 日~	2 往復/日	-	※1
関西=沖縄	3 月 29 日~	3 往復/日	-	※1
関西=宮古	3 月 29 日~	1 往復/日	-	※1
関西=石垣	3 月 29 日~	1 往復/日	-	※1
静岡=札幌	10 月 1 日~	1 往復/日	-	
静岡=沖縄	10 月 1 日~	1 往復/日	-	

福岡=沖縄	3月29日～6月30日、 9月1日～10月24日	9往復/日	8往復/日	期間減便
-------	-----------------------------	-------	-------	------

※1 一部の日程は1往復/日程度運航。

※関係当局への申請・届出・認可を前提としております。

<Peach>

- 関西=札幌線・沖縄線、成田=札幌線などを増便し、その他の一部路線は需要動向や競争環境に応じて期間増減便いたします。

【Peach 国内線 航空輸送事業計画】

(1) 増便

路線	実施時期	運航便数 (現行)	運航便数 (変更後)	備考
関西=札幌	3/29～10/24	4～8往復/日	6～10往復/日	
関西=沖縄	3/29～10/24	3～4往復/日	4～7往復/日	
成田=札幌	3/29～10/24	6～9往復/日	7～9往復/日	
中部=沖縄	3/29～10/24	1往復/日	2往復/日	

(2) 期間運航

路線	実施時期	運航便数 (現行)	運航便数 (変更後)	備考
関西=釧路	3/29～10/24	—	4往復/週 ※1	
関西=女満別	3/29～10/24	—	3往復/週 ※2	

※1 7/2～9/29(火・木・金・日)のみ期間運航。

※2 7/1～9/30(月・水・土)のみ期間運航。

※実際の運航便数とは異なる場合がございます。

※関係当局への申請・届出・認可を前提としております。

3. 貨物事業

<ANA/NCA>

- 本邦最大のコンビネーションキャリアとして、旅客便貨物に加え、ANA 貨物便によるアジア路線、NCA 貨物便による欧米ネットワークの強化を図り、アジア＝欧米間の貨物流動を確実に取り込んでまいります。
- 機材別では、中型貨物機(ボーイング 767 型フレイター)をアジア路線に、大型貨物機(ボーイング 777・747 型フレイター)は欧米路線を中心に投入いたします。また、豊富な機材数を活かしたチャーター便や臨時便の柔軟な設定に加え、拡大する旅客便の貨物スペースを最大限に活用することで、お客様の多様なニーズにお応えいたします。
- NCA 貨物便において、シカゴ・ダラス・ロサンゼルス線を計週 5 往復増便し、北米路線のさらなる拡大を図ってまいります。

【対象期間】2026 年 3 月 29 日～2026 年 10 月 24 日

※また、需要動向に応じて臨時便を随時設定いたします。

エリア	路線	便名 (日本発/海外発)	週間便数 (現行) ※1	週間便数 (変更後)	運航予定機材 ※4
北米	成田=シカゴ	NH8402/8401	4 往復	3 往復	B777F
		NH8422/8421	3 往復	4 往復	B777F
		KZ132/141	1 往復	1 往復	B748F
		KZ134/133	2 往復	-	B748F
		KZ134/143	1 往復	4 往復	B748F
		KZ138/147	1 往復	-	B748F
		KZ7132/7141	2 往復	1 往復	B744F
		KZ7134/7143	2 往復	4 往復	B744F
		KZ7138/7147	-	1 往復	B744F
	成田=ロサンゼルス	NH8408/8407	2 往復	1 往復	B777F
		NH8418/8417	-	1 往復	B777F
		KZ108/101	7 往復	7 往復	B748F
		KZ7106/7103	1 往復	1 往復	B744F
		KZ7108/7101	-	1 往復	B744F
	成田-シカゴ-ニューヨーク-成田	KZ160/159	2 往復	-	B748F
	成田=ニューヨーク	KZ114/115	-	2 往復	B748F
	成田=ダラス	KZ172/173	1 往復	2 往復	B748F
		KZ7170/7171	2 往復	-	B744F
KZ7172/7171		-	3 往復	B744F	
欧州	成田-アムステルダム-ミラノ-成田	KZ004/049	3 往復	3 往復	B748F
	成田-アムステルダム-フランクフルト-成田	KZ006/055	1 往復	-	B748F
	成田=フランクフルト	KZ038/039	1 往復	2 往復	B748F

東南アジア	成田=バンコク	NH8507/8508 ※2	4 往復	5 往復	B767F
	成田-シンガポール-バンコク-成田	KZ235/254	2 往復	1 往復	B748F
		KZ263/262	1 往復	1 往復	B748F
成田=ハノイ	NH8447/8448	4 往復	4 往復	B767F	
東アジア	成田=香港	NH8511/8512	6 往復	5 往復	B767F
		NH8513/8514	1 往復	1 往復	B767F
		KZ203/202	7 往復	7 往復	B748F
		KZ207/206	2 往復	-	B748F
		KZ209/206	1 往復	3 往復	B748F
	成田=台北	NH8441/8442	6 往復	6 往復	B767F
		KZ241/242	2 往復	2 往復	B748F
		KZ7244/7243	1 往復	1 往復	B744F
	成田=ソウル	NH8475/8476	6 往復	6 往復	B767F
	成田=北京	NH8527/8528	2 往復	2 往復	B767F
	成田=大連	NH8501/8502	5 往復	5 往復	B767F
	成田=上海	NH8403/8404	4 往復	4 往復	B777F
			2 往復	2 往復	B767F
		NH8415/8416	1 往復	-	B767F
		NH8431/8432	3 往復	-	B767F
		NH8517/8518	-	5 往復	B767F
		KZ225/226	6 往復	6 往復	B748F
	KZ227/228	7 往復	6 往復	B748F	
	成田=青島	NH8427/8428 ※3	5 往復	4 往復	B767F
	成田=廈門	NH8515/8516	4 往復	4 往復	B767F
NH8525/8526		2 往復	2 往復	B767F	
成田=広州	NH8489/8490	6 往復	6 往復	B767F	

※1 ANA 運航便は 2025 年度下期修正事業計画の便数を記載しています。NCA 運航便は 2026 年 1 月時点の運航便数を記載しています。実際の運航便数とは異なる場合があります。

※2 3 月 28 日までバンコク発は NH8510 便として運航。

※3 3 月 28 日まで青島発は NH8506 便として運航。

※4 B777F=ボーイング 777 型フライト

B767F=ボーイング 767 型フライト

B748F=ボーイング 747-8 型フライト

B744F=ボーイング 747-400 型フライト (アトラス航空による運航)

※関係当局への申請・届出・認可を前提としております。

本リリースは、一定程度の期間にわたる変更のみを記載しております。詳細は各社ホームページをご確認ください。

<ANA>

国際線ウェブサイト：<https://www.ana.co.jp/ja/jp/international/>

国内線ウェブサイト：<https://www.ana.co.jp/ja/jp/domestic/>

<Peach>

<https://www.flypeach.com/>

<ANA Cargo>

<https://www.anacargo.jp/ja/>

<NCA>

<https://www.nca.aero/main.html>

以上

お問い合わせ先： ANA ホールディングス(株) 広報・コーポレートブランド推進部 03-6735-1111